

「笑顔」と「わくわく」があふれる楽しい学校

わくわく通信

NO.6 令和7年6月13日

北広島町立大朝小学校長 大丸 哲男

全校道徳「しあわせのバケツ」の読み聞かせ

6月4日の全校朝会では、絵本「しあわせのバケツ」を読み聞かせしました。

この絵本のテーマは、心の中にある「見えないバケツ」を通じて、優しさや思いやりの大切さを伝えることです。このバケツは、温かい言葉や親切な行動で満たされ、逆に傷つける行動で空になってしまいます。

子どもたちは、このバケツのイメージを通じて、日々の生活の中で「どうしたら周りの人の幸せのバケツを満たせるだろう」

と考えるきっかけを得られたように思います。



【絵本紹介】

世界中の誰もが心のバケツを持っている。そのバケツは、人を喜ばせるといっぱいになり、嫌なことをすると空になってしまう。お互いを思いやり、親切にすればみんなが笑顔で幸せになれることを、バケツを例えにして優しく書いた教育絵本
(アメリカでお母さんが選ぶ絵本第1位)



その後の全校朝会で「みんなの幸せのバケツは、どれくらい？」と尋ねたところ、1年生の子が「私のバケツは幸せでいっぱい。今日みんなに会えたからです。」と答えてくれました。



この言葉に、会場にいたみんなの心がじんわりと温まり、感動が広がりました。

この子の純粋な思いは、私たち大人にとって共感と気づきを得られるものではないでしょうか。ご家庭でも、この「しあわせのバケツ」の考え方を話題にしてみてはいかがでしょうか。これからも、心が豊かになる全校道徳を行います。

【子どもたちの声】

- ◆ 誰かが人を傷つけているところ見たら、勇気を出して「やめてあげて」「傷ついているよ」と声をかけていきたいです。そのためにも、しっかりまわりを見て行動したり、自分も相手も傷つけないようにしていきたいです。
- ◆ ぼくも今日から毎日いろいろな人の見えないバケツをあふれるまでたくさんにして、自分もみんなもしあわせにしていきたい。
- ◆ これからは、今まで以上に人を気遣い、みんなのしあわせのバケツをいっぱいにしていきたいです。そして、楽しい学校生活を過ごしたいです。
- ◆ わたしもいいことをして、しあわせのバケツをいっぱいにしたいです。
- ◆ 何か困っている人がいたら、自分から進んで助けたいです。



【次号予告】

毎日が成長と感動でいっぱい！「わくわく学校」で学ぶ子どもたちの毎日がもっと楽しくなる授業づくりと学級づくり（〇年生編）